

団体名：小金井市中央商店街協同組合（小金井市）

活動内容：地域コミュニティが衰弱している現状から新たな地域のあり方を模索



設立：1940年

代表者名：斎藤 浩さん

団体の規模：有給パートタイムスタッフ 1人

活動実績：

- 主に地域の子供たちを対象とした、「六地藏盆・子ども祭り」を夏に開催。
- 六地藏の敷地に、深井戸を掘り、井戸水を地域住民にも利用出来るように開放
- 夏の時期に、夜警を実施
- 地域のイベント等への協力（共催）
- 防犯カメラの設置（4箇所）

戦前より80年近い歴史を持つ「小金井市中央商店街協同組合」。2011年の東日本大震災をきっかけに避難後の地域コミュニティのあり方に関心を持った斎藤さんは商店街のあり方を考え直し、新たな地域コミュニティをデザインするための模索を始めようとしています。「モノを売る商人の集まり」から、「地域コミュニティの担い手」へ——商店街の新しいチャレンジに取り組んでいます。

# 2019年度東京ホームタウンプロジェクトの支援内容：マーケティング基礎調査

小令井の街づくりに向けたアンケート 2019年11月

小令井をよりよい街にするためのアンケートにご協力をお願いします。ご記入頂いた情報は、認定NPO法人サービスグラントが、調査の目的にのみ使用します。個人を特定することはありません。

- 年齢を教えてください。  
 ~19歳  20代  30代  
 40代  50代  60代  70代~
- ご職業を教えてください。  
 小・中学生  高校生・専門学校生  大学生・大学院生0代  自営業  
 会社員  パート・アルバイト  無職  主婦・主夫・家事手伝い等  
 その他
- 性別を教えてください。  
 男性  女性  答えたくない
- お住まいを教えてください。  
 小令井市  その他 \_\_\_\_\_市・町・村・区
- 小令井市にお住まいのかたにおききます。お住まいになって何年になりますか。  
 小令井市に住んで、年になる
- お住まいになる中で、この街（小令井市）に足りていないと感じるものはありますか。以下の中からいくつかをお選びください。  
 住民サービス（特に必要と思うもの \_\_\_\_\_）  
例：「子育て支援の取り組み」、「雇用促進」など、具体的に記入ください。  
 地域の人とのつながり、交流の機会、場所など  
 地域の中、今まで交流がなかった人とのつながり  
 災害時にも安心できるような備え  
 商業施設による賑わい  
 オフィス・事業所による賑わい  
 その他 \_\_\_\_\_  
 特になし（おおよそ現在の街の姿に満足している）
- 市内のイベントや地域での取組みに参加したことはありますか。  
 ある  ない
- 「ある」と答えた方はイベント名または取り組み名を教えてください。  
イベントまたは取り組み名 \_\_\_\_\_

画面へ続きます▶

認定NPO法人 サービスグラント  
東京ホームタウンプロジェクト <https://hometown.metro.tokyo.lg.jp/>

小令井の街づくりに向けたアンケート

お住まいについてお選びください

年齢を教えてください\*

10代  
 20代  
 30代  
 40代  
 50代  
 60代~

職業を教えてください\*

小・中学生  
 高校生・専門学校生  
 大学生・大学院生  
 自営業  
 パート・アルバイト  
 無職  
 主婦・主夫  
 家事手伝い等  
 その他

性別を教えてください\*

男性  
 女性  
 答えたくない

お住まいを教えてください\*

小令井市  
 その他 \_\_\_\_\_市・町・村・区

小令井市にお住まいのかたにおききます。お住まいになって何年になりますか。\*

小令井市に住んで、年になる

お住まいになる中で、この街（小令井市）に足りていないと感じるものはありますか。以下の中からいくつかをお選びください。\*

住民サービス（特に必要と思うもの \_\_\_\_\_）  
例：「子育て支援の取り組み」、「雇用促進」など、具体的に記入ください。

地域の人とのつながり、交流の機会、場所など  
 地域の中、今まで交流がなかった人とのつながり  
 災害時にも安心できるような備え  
 商業施設による賑わい  
 オフィス・事業所による賑わい  
 その他 \_\_\_\_\_  
 特になし（おおよそ現在の街の姿に満足している）

市内のイベントや地域での取組みに参加したことはありますか。\*

ある  ない

「ある」と答えた方はイベント名または取り組み名を教えてください。\*

イベントまたは取り組み名 \_\_\_\_\_

**目的：商店街を中核とするコミュニティ形成に向けた、住民ニーズ調査**  
**支援内容：地域住民約100人へのアンケート調査、商店街加入・未加入事業者へのヒアリング、各種調査を実施。商店街エリアに新たに参入してきた多様な事業者や住民も巻き込み、商店街が地域のコミュニティの担い手のひとつとして出来る事をと考えるべく、地域づくりにむけた施策を検討。**

## 住民への定量調査

- 若年層においては、比較的「人とのつながり」へのニーズが強い
- 一方で、高年齢層においては「知識・知恵」の充足ニーズが強い
- 街のことに強く関心を持つ方にとっては、「災害時への備え」が特に重要な課題となっている様子。
- 街への関心が低い人にとって、「趣味」が街の輪に入る際のきっかけとなる可能性がある。

## 商店街会員へのヒアリング調査

- 新入会員も含め、「事業者同士の関係を強めたい」というニーズがある。
- 新入会員と既存会員がお互いに遠慮している可能性あり、コミュニケーションの強化で商店街組織の活性化できる可能性がある。
- 商店街の活動に協力したいが、人がいないことから、「外部の力」（市民・各団体・学校等）を借り、活かす必要性がある。

## ■小金井に足りないと感じているもの

- 全体では①「災害時に安心できるような備え」が高く、次いで②「住民サービス」、③「オフィスによる賑わい」が高い。
- 性年代でおおむね差はないが、**20代（サンプル数が少ないため参考値）において「地域の人とのつながり」が上がっているのが特徴的。**

	n=	災害時にも安心できるような備え	住民サービス	オフィス・事業所による賑わい	地域の人とのつながり、交流会、場所など	娯楽施設による賑わい	そのほか	特になし
総計	98	40.8%	30.6%	23.5%	22.4%	22.4%	21.4%	10.2%
~19歳	2	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
20代	7	42.9%	28.6%	28.6%	57.1%	14.3%	14.3%	14.3%
30代	14	35.7%	28.6%	28.6%	21.4%	35.7%	28.6%	7.1%
40代	33	30.3%	30.3%	33.3%	21.2%	27.3%	15.2%	9.1%
50代	32	46.9%	28.1%	18.8%	18.8%	15.6%	28.1%	12.5%
60代	5	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%
70代~	5	80.0%	80.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%

## ■参加したい取組み

- 全体では①「新たな知識が得られる取組み」②「世代を超えて楽しめる取組み」③「新たな地域の人とのつながりが生まれる取組み」の順に高い。
- 50代では①が最も高いが、30代では③、40代では②が高く、**比較的高年齢層のほうが知識・知恵を、若年層の方がつながりを求める傾向**にある。

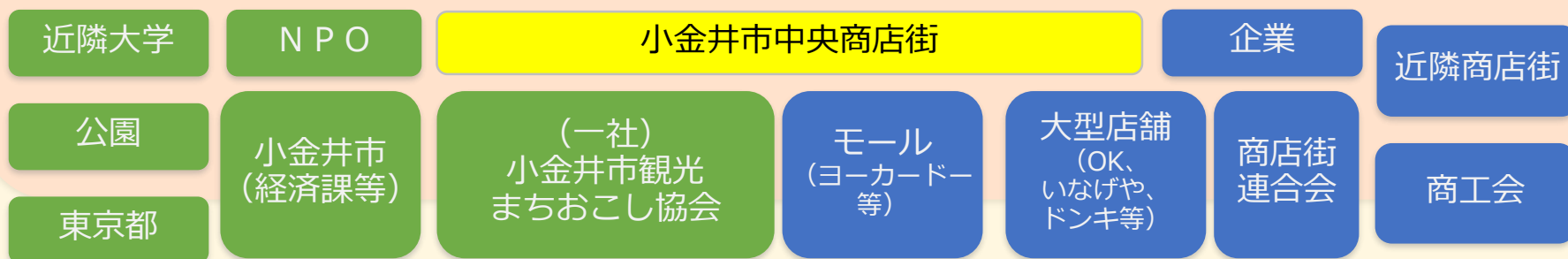
	n=	新たな知識が得られる、知的好奇心を満たす取組み	大人から子供まで、世代を超えて楽しめる取組み	新たな地域の人とのつながりが生まれる取組み	生活に役に立つ知恵を得られる取組み	自分の趣味を楽しむことができる取組み	新たな趣味を見つめられる取組み	これまでの地域の人とのつながりが、より強くなる取組み	金銭的なメリット・クーポンなどがもらえる取組み	その他	参加したいものはない
全体	98	60.2%	56.1%	43.9%	39.8%	38.8%	32.7%	27.6%	26.5%	5.1%	1.0%
~19歳	2	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
20代	7	57.1%	42.9%	42.9%	28.6%	57.1%	57.1%	0.0%	57.1%	14.3%	0.0%
30代	14	28.6%	42.9%	50.0%	35.7%	28.6%	35.7%	7.1%	35.7%	7.1%	7.1%
40代	33	66.7%	75.8%	45.5%	33.3%	54.5%	27.3%	27.3%	39.4%	6.1%	0.0%
50代	32	71.9%	56.3%	50.0%	53.1%	25.0%	34.4%	46.9%	6.3%	3.1%	0.0%
60代	5	20.0%	40.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
70代~	5	60.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%

**地域の人々が主役となるような活動体**を、商店街もしくはそのステークホルダーが中心となって支援し、コミュニティを再形成する。

商店街が主体となったお祭り等は、これまでも開催されており、継続が望ましいと考えます。**今後形成する活動体の主役は「地域の人々」であり、商店街や他のステークホルダーはその支援部隊・場の提供機能を担うイメージ。**

## 住民主体の活動を通じたコミュニティ再形成

各ステークホルダー間による提携・地域リソースの活用による活動支援／場の提供



# 今後の方向性について

調査を通じた  
現状課題

市民や商店街会員のそれぞれで、「意欲」はあるものの「きっかけ」や「人手」が足りない

今後の商店街  
のあるべき姿

商店街が、小金井の「つながりのHUB（媒介）」となる

- ・市民から信頼を得て相談でき、地域をつなげることができる団体になる

あるべき姿の  
実現に向け  
やるべきこと

- ・ **住民と「つながる手段」を持ち、コミュニケーションをとる**
- ・ コミュニケーションをとるための「きっかけ」を持つ（意思発信、イベントの実施）
- ・ 内部での情報共有をスムーズに行い、**商店街組織を活性化**する

具体的な  
施策

- 1.今の時代にあった「地域⇔商店街」「商店街内」の  
コミュニケーション手段を確立する
- 2.地域との接点のきっかけとなる、住民ニーズを踏まえた  
施策を実行する